

北九州市営駐車場指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月17日(木) 13:00~16:00
- 2 場所 北九州市役所 本庁舎14階 141会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 寺町構成員、神力構成員、待鳥構成員、
植田構成員
(事務局) 都市戦略局都市交通政策課長、企画調査係長、職員

4 会議内容

- (1) 構成員、事務局の紹介
- (2) 議事次第等について事務局より説明
- (3) 構成員の互選により、座長を選出
- (4) 応募団体より提案概要に関してヒアリング

○ 応募団体(小倉都心部パーキングマネジメント共同事業体)より、小倉地区市営駐車場について、提案概要の説明

○ 質疑応答

(構成員)

- ・ 共同事業体の構成企業における売上高と損益の推移について、令和3年度に比べて令和4年度の方が売上げが下がっているのに、損益は令和3年度の方が下がっているのはなぜか。

(応募団体)

- ・ 令和3年度は、会社役員の退職金の影響によるものである。

(構成員)

- ・ 新たな機器・技術の導入について、AIカメラの提案があるが、個人情報の保護やゲート通過の容易性に対する対策はどのように検討しているか。

(応募団体)

- ・ AIカメラの個人情報保護については、基本的にはナンバープレートの情報を読み取るものであり、利用者の姿まで記録するものではない。その点で個人情報に配慮できていると考える。
- ・ また、設置にあたっては、角度や明るさによる映り具合、費用なども含めて検討していきたい。

(構成員)

- ・ ナンバープレートのチェックで、料金の精算もするのか。

(応募団体)

- ・ 現況の精算機がそのように対応していないので、料金精算までは考えていない。

- ・ 滞在時間の分析や満空状況の把握などを考えている。

(構成員)

- ・ 満空状況に関連して、勝山公園地下駐車場は、平日と休日で、利用者属性が異なると想像しているが、利用者の売り上げに対する割合はどのように予測しているか。

(応募団体)

- ・ 土日は利用率が下がることは把握しているが、利用収入の詳細の予測はまだできていない。
- ・ 管理者として有している実績データをもとに出した予測台数で検討している。

(構成員)

- ・ 施設間の有機的な連携を図るための取り組みとして、苦情処理システムの導入によるデータの一元管理を提案しているが、例えば一般市民が駐車場の空き状況を確認できるようにはできないのか。

(応募団体)

- ・ 現在は施設の維持管理的な視点でデータをタブレットで確認できるようにしており、これをカスタマイズすることによって実現できるのではないかと考える。今後検討していきたい。

(構成員)

- ・ アプリとの連携などの実績はあるか。

(応募団体)

- ・ 他施設で類似の実績はある。

(構成員)

- ・ ビッグデータを用いた利用者の状況把握を提案しているが、具体的にどのようなものを見込んでいるか。

(応募団体)

- ・ 特定のエリアでどの時間帯でどのような人が利用しているか、利用者がどの施設に向かったかの割合などが把握できる。

(構成員)

- ・ 事業計画書の中にある老朽化による修繕費の見積もりの根拠はあるか。

(応募団体)

- ・ 経験によって修繕箇所の優先順位をつけ、市から提示された固定額の修繕費(概算払い)の中で効率的に行う。

(事業者)

- ・ 利用促進について、冷凍品の荷物預かりサービスは無料か、有料か。有料ならば、どの程度の価格で行うのか。

(応募団体)

- ・ 無料である。このサービスは現在も行っており、継続して実施するものである。

(事業者)

- ・ 井筒屋との送迎サービスの連携を提案しているが、実現可能性はどれほどと考えているか。

(応募団体)

- ・ 井筒屋は商工会議所が行っている共通駐車券事業に参加しており、その利用率がかなり高いため、それを踏まえて商工会議所と連携しながら協議を進めた。

(構成員)

- ・ 資料で挙げている広告費の中でホームページにかかる費用の割合はどれくらいか。また、それ以外に想定しているものはどのくらいの割合で考えているのか。

(応募団体)

- ・ ホームページの作成とランニングコストで、広告費の8割に相当する。
- ・ 残りの2割は小倉城目的の外国人観光客のため、分かりやすい利用案内、周辺の案内などを作成するための費用を想定している。

○ 応募団体（北九州市シルバー人材センター）より、八幡地区市営駐車場について、提案概要の説明

○ 質疑応答

(構成員)

- ・ キャッシュレス決済について、導入のコストや手数料についてどのように考えているか。

(応募団体)

- ・ ハード面については市と協議を行う必要があるため、ソフト面のみの提案となっている。手数料がかかることは想定しているが具体的にどのようにするかは市との協議が必要になると考えている。

(構成員)

- ・ 地域貢献について、台風時の利用状況について、利用者が増えたとのことだが、どのような告知を行ったのか、知りたい。

(応募団体)

- ・ 特段告知はしていない。屋外の駐車場を利用していた方が安全面を考えて、台風の間だけ一時的に利用したことで利用者が増えたと考えている。

(構成員)

- ・ 支出項目内訳の中に広告・宣伝費といった費用が特段記載されていないようだが、別の予算に別途含まれているのか。

(応募団体)

- ・ 消耗品費の中から支出しているものもあるが、基本的にはシルバー人材センター本部の予算の中で支出する。

(構成員)

- ・ 利用台数の目標値について、令和7年度から11年度にかけてフラットになっているのはなぜか。伸びる余地はないのか。

(応募団体)

- ・ 現在の利用状況や、今後の人口予測などを考えると、利用数の増加は難しいと判断した。何も取り組まなければ減少していくと考えられるため、提案による取り組みによって現状維持を目指すという目標を立てている。

(構成員)

- ・ 人件費については過去及び直近の人件費高騰も含め、一定の比率で上昇しているか。

(応募団体)

- ・ 人員配置を決めたのち、上昇率を上乗せしている。

(構成員)

- ・ 大規模改修に向けた提案のなかで、カメラ式ゲートとあるが、このデメリットとその防止策について既に検討済みか。

(応募団体)

- ・ 利用料金の未払いが考えられるが、繰り返すようであればナンバープレートに基づいて陸運局を通じて催告が可能である。
- ・ また、別業者の例として全国の施設でデータを共有し、逃げられても別施設で請求を行ったというものがある。そのため対処可能であると考える。

(構成員)

- ・ それら対策について、個人情報適用除外にあたるような工夫がされているか。

(応募団体)

- ・ そこまでは把握していない。あくまで提案の段階を想定しており、令和7年度からすぐに実施を考えているものではない。

(構成員)

- ・ 定期券、パークアンドライド、土日祝日の上限制についてどのくらいの効果を予測しているのか。また、この収支計画書の中にその効果を反映しているか。

(応募団体)

- ・ 収支計画には反映していない。この提案には条例改正などが必要になるためハードルが高いと考えている。
- ・ 定期券については何台設置するのかによって変わってくるかと思うが、現在想定している台数が全て埋まれば効果があると考えている。
- ・ 上限制については、どれほど需要があるのか詳しく想定できないが、小倉や福岡へ向かう利用者などを対象に需要があるのではないかと想定している。

(構成員)

- ・ 新しい取り組みを導入する際の告知についてどのような方法で行うのか検討しているか。

(応募団体)

- ・ まだ具体的に考えていないが、市と協議、連携しながら模索していく。

○ 応募団体（トラストパーク株）より、八幡地区市営駐車場について、提案概要の説明

○ 質疑応答

（構成員）

- ・ 北九州事務所の従業員数を教えてほしい。

（応募団体）

- ・ 現在約20人が勤務している。

（構成員）

- ・ 指定管理の指定を受けた後、必要に応じて人員の増加などは考えているか。

（応募団体）

- ・ 人員については追加する予定である。

（構成員）

- ・ 目標数値について、かなり積極的で細かな数字を出しているが、積み上げの根拠はあるのか。

（応募団体）

- ・ 市が提示した令和5年度の実績数字を元に、当社が保有する黒崎エリアの駐車場データや市場データを参考にしながら試算している。
- ・ また多くの提案がどれだけ利用台数や収入の増加につながるのかも検討し、試算している。
- ・ 八幡地区の今後の変化を見込むと、新たな需要が生まれる場所であり、利用台数、利用収入ともに伸ばせると考え、目標数値を挙げている。

（構成員）

- ・ ユニバーサルな施設設計について、これによってどれぐらいの利用者増が見込めると分析しているか。

（応募団体）

- ・ この提案に関しては、収入の増加ではなく、お客様の利用満足度の向上につながるものと考えている。現在の指定管理者も同様の取り組みを行っているが、着色や大きくすること等で、より分かりやすいものにするよう考えている。

（構成員）

- ・ 支出の見込み計画の中で光熱水費が一定となっているが、光熱水費は上昇していくのではないか。

（応募団体）

- ・ 令和5年度の実績をもとに算出したものである。実際どれほど費用が掛かるか想定できなかったため、概算金額を記載している。

（構成員）

- ・ 販促実施に関して、折込チラシ配布の対象エリアはどのあたりまでを考えているのか。また「チラシ等」についてチラシ以外は何があるか。

(応募団体)

- ・ 基本的には北九州全域で考えている。
- ・ 利用者へのマーケティング、アンケート活動、モニタリング活動をすることで、どのエリアから来ているのか、目的は何か、といったことをリサーチしたうえで、的確な販促活動につなげたい。
- ・ そのうえで折込チラシ、ポスティング、駅でのポケットティッシュのハンディングなどを考えている。

(構成員)

- ・ 地域との連携部分について、具体的に考えているものはあるか。

(応募団体)

- ・ 主に黒崎商店街での販促活動や、連携を深めるためのコミュニケーションづくりを考えている。定期訪問を重ね、信頼関係を構築し、連携したイベントが実施できればと考えている。

(構成員)

- ・ トラストナビと連携した新しい活用の部分について、もう少しわかりやすく説明してほしい

(応募団体)

- ・ 目的としては第一にその駐車場を広く周知することであり、そのために周辺の施設やお店の情報を掲載している。その情報は近隣施設に直接訪問して、得たものを使用している。
- ・ こういったWebページを黒崎駅西駐車場でも開設して、地域とのつながりをよりアピールし、集客を促したい。

(構成員)

- ・ 駐車場の入口サイン、特に小倉方面の看板設置やそのほか新たな試み、場内でのイベント実施などの経費はどこに記載しているか。

(応募団体)

- ・ 支出項目内の広告宣伝費に計上している。
- ・ 初年度は入口の演出改善を考えているため、80万円と少し多めに予算を確保しており、次年度からは基本的に50万円を計上している。
- ・ 常に駐車場内の掲示物は一新、改善していく必要があると考えており、その他、広告チラシなどの販促物の経費も計上している。

(構成員)

- ・ 駐車場内で行うイベントについて、危険性に対する配慮はどのように工夫するのか。

(応募団体)

- ・ 他の事例では、安全に配慮し、仕切った車室でイベントを行っている。

- 構成員は提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて、各自の採点根拠等について発表、説明。

【小倉地区市営駐車場について】

《小倉都心部パーキングマネジメント共同事業体に関して》

- ・ 過去の経験や実績を踏まえた現状分析ができており、それに対する取り組み提案もあった。提案内容も通常より優れているものと考えられる。着実な管理運営がなされていると感じた。
- ・ ICTに関する提案について、今後の期待値が高いとして評価できる。
- ・ 利用促進の観点から、平日と休日の利用予測が明確に把握できていると良かった。
- ・ 利用者のニーズをかなり細かく汲み取り、それに沿った提案を複数挙げた。利用者に近い立場で管理運営を行っているため、地域交流の面で何か提案ができるのではないかと感じた。
- ・ 堅実な管理運営が期待できる。安全対策や危機管理に関する提案についても高く評価できる。

【八幡地区市営駐車場について】

《公益社団法人北九州市シルバー人材センターに関して》

- ・ 過去の経験や実績を踏まえた現状分析が出来ており、それを踏まえた提案内容であった。
- ・ 市との調整が前提となっているものが多いものの、新たな提案があった。
- ・ 利用者の目標値について、何とか現状維持を目指すという印象を受けた。
- ・ 黒崎地区の施設についてよく理解している点が強みであり評価できる。

《トラストパーク株式会社に関して》

- ・ 今のルールの範囲内で出来る提案をしている。
- ・ 審査項目に対する提案が別の箇所を書いてあるなど、資料の一部に分かりづらい箇所があった。
- ・ 利用者の目標値について積極的に提案している。計画の実現可能性とは別に、黒崎地区の活性化による明るい未来が想像できた。

- 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。